

ほしが丘町内会 広報誌  
2025年11月 発行

hoshigaoka.teine@gmail.com



※お問い合わせの際は、「ファミリー名」と「氏名」を記入ください  
(差出人不明の場合は、対応しかねることがあります)

# きらぼし

## 【協力依頼】住民アンケートを実施します(総務部)

日頃から、町内会の運営にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ほしが丘町内会は今年で設立10周年を迎えます。

月日の経過に伴い、町内会の世帯や年齢構成は変化しており、設立当時とは、地域課題や町内会の役割等も変わっていることかと存じます。

つきましては、今一度、皆様が町内会に期待することや日頃感じていることなどを伺いし、今後の町内会運営の参考にさせていただきたく、以下のとおりアンケートを実施いたします。

この町内会をより一層暮らしやすい地域にするため、

アンケートへのご協力をよろしくお願ひいたします。

・アンケートフォーム：<https://forms.gle/kq6uxAEr8QgzcDWu6>

全8問 ※所要時間は5分～10分ほどです

・回答期限：**12月14日（日）中**



アンケートフォーム

## 【報告】夢トピア星置町内会連合会 生活安全部出前講座の報告(生活安全部)

11月29日（土）、コスモプラザにて町連主催の出前講座が開催されました。講師に札幌市危機管理局の佐々木防災計画担当係長を招き、町内会の生活安全部長など約30名が参加して災害対策について学びました。

講座では、「今後30年以内に震度6弱以上の地震に見舞われる確率は、交通事故や風水害に遭う確率よりも高い」というデータが示され、日頃の備えの重要性が強調されました。具体的な対策として、以下のポイントが解説されました。

・**自宅での対策**：家具の固定、家具の転倒範囲にベッドを置かない配置の工夫など。

・**非常持ち出し品**：水や食料に加え、処方薬・メガネ・粉ミルクなど

「個人の事情に合わせて避難所では入手できないもの」を持参する重要性。

最後に、ハザードマップや緊急情報通知機能を持つ札幌市防災アプリ「そなえ」が紹介されました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。ぜひアプリも活用し、日頃から災害に備えましょう。



緊急情報

現在緊急情報はありません



札幌市防災アプリ「そなえ」



## 【報告】11月役員会開催報告（総務部）

・会員数報告 ・収支報告 ・住民アンケートの実施 ・秋の一斎清掃報告 ・クリスマス会実施有無の検討  
上記を主な議題として役員会を開催いたしました。

# 星のまたたき

令和7年11月2日発行  
第418号  
夢トピア星置町内会連合会



10月20日手稻山初冠雪。平年より2日遅く、昨年と同じ。この3日後、札幌で平年より5日早い初雪が降りました。

## 今年度のパートナーシップ排雪は基本的に従来通り ～見直しの基本方針は令和8年度、基本計画は9年度以降となる見込み～

札幌市では昨年度からパートナーシップ排雪の見直しに向けた検討を行っています。

町内会の負担額を抑制するとともに、排雪業者の従事者不足に対処して持続可能な除排雪を確保していくために、市民、排雪業者、専門家、市が検討を続け、昨年度は、排雪幅を狭くして排雪量を減らし、市が費用を全額負担して排雪する実証実験を手稻区を含む複数の区で実施しました。

今年度（令和8年2月以降）は清田区と厚別区で、区内の全生活道路を同様の方式で排雪する実証実験を行うことが予定されています。



また市民参加のワークショップなども行い市民意見を聞いていくとしています。

これらの結果などを踏まえて市の「雪対策審議会」で審議検討し、令和8年度には見直しの基本方針をまとめ、更に令和9年度以降に基本計画をとりまとめて以後その計画により全市の生活道路の排雪をおこなっていく方向です。

市の検討状況がなかなか見えない中、憶測による新聞テレビの報道が先行し、市民が振り回されている感がありますが、大きくは以上のスケジュールで進めていく様です。

なお、今年度は地域負担額は昨年度に続き据え置きとなる見込みとのことです。

夢トピアでは、町連が提案していた町内会単位で実施中止決定ができる方式への転換の議論は当面先送りし、市の見直しの行方を見極めることとしており、今年度は例年通りのパートナーシップ排雪を実施する予定です。

具体的な実施内容については、例年通り12月頃開催される役員会で各町内会長、町連役員が集まっての役員会で審議することになります。

## HUS キャンパス・イルミネーション 2025

～今年も開催、北海道科学大学の冬の一大イベントはイルミネーションだけじゃない～

今年で開催9年目を迎える北海道科学大学のキャンパス・イルミネーションが12月2日（火）から開催されます。開催中は駐車場も解放され、大学構内にて展示やイベントを観覧できます。



イベントのタイトルでもあるイルミネーションはステンドグラスアートによる6mの巨大ツリーと20基の光のオブジェクトがキャンパスを装飾。入場者が自由に光のアートを楽しめます。

更に、楽しく、ためになる科学のわくわく体験ができる「ワークショップ」は例年子供たちに大人気。（参加は事前申し込みが必要です）



各学科、サークルなどによる作品展示、パフォーマンス（演奏、ダンスなど）が行われる予定で、「札幌短編映画祭」ノミネート作品の上映会も開催されます。

家に閉じこもりがちな冬、大人も子どもも楽しめ、ためになるキャンパス・イベントに行ってみてはいかがでしょうか？

なお、ワークショップへの参加には事前申し込みが必要となります。（イベントの開催スケジュールなどについては北海道科学大学ホームページで）

### <キャンパス・イルミネーション 2025>

- ・会場：北海道科学大学（手稻区前田7条15丁目4-1）
- ・点灯期間：12月2日（火）から12月25日（木）まで
- ・点灯時間：16時から20時

詳しくは北海道科学大学のホームページなどでご確認下さい



## クリーンさっぽろ施設見学の報告

～新しい駒岡清掃工場は環境にも地域にも優しい施設でした～

今年のクリーンさっぽろ施設見学会は今年8月に竣工した駒岡清掃工場の見学でした。

駒岡清掃工場のあるところは南区の真駒内で、地下鉄真駒内駅から直線距離で3.5kmほどですが、小高い山に囲まれた緑も多い地域で、隣接して市内唯一の老人休養ホーム「保養センター駒岡」もあります。



現在市内のごみの焼却は3つの清掃工場で分担して行われており、駒岡は市内の3分の1のごみを受け持っている大事な工場ですが、建設から40年経って老朽化したため建て替えられることとなりました。

工場は新しいこともあってとてもきれいですが、それだけでなく、煙突から出る煙の濃度などは法律の基準よりはるかに厳しい自主基準値を目標に運転しているとのことです。

また、ゴミを燃やして出た熱は以前の工場でも発電や真駒内地区の地域暖房などに使われていましたが、新しい工場では地域の暖房などへの熱の利用量が2倍になっているほか、発電も従来の3倍の16,800kwとなり、市営地下鉄で使用する全ての電気を賄うことができる発電量となっているそうです。

建物はとても頑丈に作られており、発電もしていることから、災害時に地域の住民が避難する避難所にも指定されているほか、周辺に散策路も配置するなど、地域に開かれ親しまれる工夫もされています。

また、工場の中では見学者がゲーム感覚で環境などについて学べる設備もあり、市内の小学生や町内会などが団体で見学して楽しく環境を学べるようになっています。

こうして私たちの生活から出るごみが最新の技術で衛生的かつ安全に処理されていく工程を目の当たりにして大変感銘を受けました。

高い環境目標で運転し、焼却時の熱を高効率発電や地域の暖房や給湯に利用しており、環境負荷を低減して持続可能な社会を目指すうえで非常に重要な取り組みと感じました。

今回の見学会を通じてゴミ処理や環境対策についての理解を深めることができました。これを町内会で共有してゴミや環境への意識を高めるきっかけとしたいと思います。

ほしが丘町内会環境部長 滝谷智大

## コスモプラザは火気厳禁です

～厨房のガスコンロも使用できません～

コスモプラザは不特定多数が利用する特定建築物（集会場）です。

しかし2階からの避難ルートは厨房上の階段だけとなっています。

これ以外の方向に避難するには縄梯子を箱から取り出して屋上の手すりにかけて降りていくしかありません。

2階で開催される塾に通う子どもなどが縄梯子で地上に降りるのは困難です。

このため現在、火災発生の可能性が大きい厨房のガスコンロを含め、館内は火気厳禁としています。

また、これから冬になりますが、電気ストーブは電気使用量が大きく、火災発生の危険も大きいので持ち込みは禁止とします。

今後2階からの避難ルートの問題が解決するまで火気使用の禁止を続ける予定ですので、ご協力をお願いします。

なお厨房の瞬間湯沸かし器、電気ポットは使用できます。



## コスモプラザは町内会役員が申し込んでも他の団体の事業なら有料です

先日、公園整備の意見交換会がコスモプラザで開催されました。

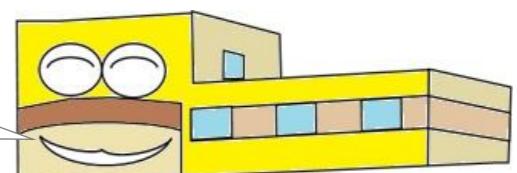
コスモプラザの利用を申し込んだのは町内会役員だったので、受付の管理員は町内会主催行事と思って料金を取りませんでした。

しかし後日、「土木センター主催の意見交換会なのに無料扱いになるのは規定と異なる取扱いだが今後もそうした扱いをするのか」という投書があり、コスモプラザ運営委員会で確認したところ、主催者は土木センターということが分かり、改めて土木センターから使用料を頂くことになりました。

コスモプラザの利用は本来有料であり、町内会活動での利用のみ無料という規定になっていて、役所を含め一切減免はしないことになっています。更に夢トピアの会員以外の利用は割増料金を頂きます。

コスモプラザは夢トピアの皆さんの会館です。皆で使用料を負担して電気代や修繕費などの経費にあてて、安全で気持ちの良い会館にしましょう。

よろしくね



# 福祉部つうしん

第7号

～夢トピア星置町内会連合会 福祉部～

2025年11月1日

日頃より夢トピア星置町内会連合会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

夢トピア町連福祉部は「誰もが安心して暮らしていくまち」を目指して活動しています。

町内会員の皆様が自分で・または近所の皆さんとの支えで、支援を上手に使い『地域で安心して生活していく事を目指し』情報提供を行っている「福祉部つうしん」です。

今回は、第1号でご紹介しました札幌市手稲区第2地域包括支援センターの紹介と、「認知症サポーター養成講座」開催のお知らせです。

## 手稲区第2地域包括支援センターとは

「地域包括支援センター」は、高齢者やその家族、ご近所の方々から、高齢者の健康や生活、介護に関する悩みなど、様々な困りごとの相談を受けてくれます。（札幌市から委託を受けており、相談は無料です。）



星置地区を担当しているのは

「札幌市手稲区第2地域包括支援センター」です。

保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士の専門スタッフが、どのように解決していくかを一緒に考えてくれます。また、介護サービスなどの支援にもつなげてくれます。

高齢の方に関するご相談事があれば、まずは電話で相談してみましょう。

手稲区第2地域包括支援センターは

電話686-7000 手稲区曙5条2丁目8-1

## 手稲区第2地域包括支援センター主催 「認知症サポーター養成講座」のご案内

開催日時：2025年11月17日（月）14時～15時30分

会場：星置地区センター2階

定員：40名（要事前申し込み）



意外と知られていない認知症のはなし

正しい知識を持っていると「どのような生活のしづらさが起きるのか」がわかり、いざという時に役立ちます。

認知症の正しい知識を持っている方（＝認知症サポーター）を増やすための認知症サポーター養成講座です。認知症について学んでみませんか？

申し込み・問い合わせは【手稲区第2地域包括支援センター】まで

電話:011-686-7000 FAX:011-686-6000

（土日祝日を除く）平日 8:40～17:40 電話で申し込み

申し込み締め切り 11月10日

福祉部つうしんで取り上げて欲しい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

また、過去の福祉部つうしんは、コスモプラザで閲覧できます。

福祉部つうしん 担当:町連福祉部 (684-3588 コスモプラザ)